



図①

ツイッターと携帯電話から 災害通信の未来を考える

一日米比較の観点よりー

Understanding Disaster Communications in the Age of Twitter and Social Media: A US-Japan Comparative

図②

東日本大震災では、ツイッターや携帯電話をはじめとする通信技術が情報伝達手段として大きな役割を果たした。海外では、緊急地震速報や自動列車制御装置などの技術が働いたおかげで多くの人命が救われた、と日本のICTをうまく活用した災害対策が高く評価されている。一方、アメリカでも、災害対策に新技術を生かすための様々な政策が進められてきた。そこで、東日本大震災の日本の経験と比較考察しながら、地震やハリケーンなどの自然災害に際し、緊急対応としてICT技術がどのような役割をこれから果たすことができるのか、という点を参加者とともに考えてみたい。

<講演者>

MILLER James

ミラー・ジェームス



連邦通信委員会弁護士 兼
アメリカン大学法科大学院客員教授



<セミナー推進者>

清原 聖子

明治大学
情報コミュニケーション学部
専任講師

日 時：2011年7月20日（水）
16:30--18:00
場 所：明治大学 駿河台キャンパス
リバティタワー 1074教室
言 語：日本語
対象者：一般公開



図③

画像出所：図①google画像サイト
図② <http://www.emstudio.jp/free/data1018/>
図③ <http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/manner/manner13.html>